

男女共同参画 ニュースレター

vol. 19

令和6年3月

3月1日より「尾張旭市ファミリーシップ制度」を導入しました。

性的少数者の方々や様々な事情により婚姻制度や養子縁組制度を利用できない方々の生きづらさや困難の解消を図るとともに、一人ひとりの人権が尊重され、個性や多様な価値観・生き方を認め合える社会を実現するために、令和6年3月1日より、ファミリーシップ制度を導入しました。

★ファミリーシップ制度とは？

互いを人生のパートナーとして尊重し、日常生活において対等な立場で継続的に責任をもって協力する関係（「パートナーシップ」といいます。）の2人が、家族であると約した関係を、「ファミリーシップ」としています。2人の近親者を含めることもできます。

2人が、ファミリーシップにあることを市長に対して宣誓し、市が宣誓書受領証等を交付します。

受領証等を提示すると…

- ・家族向けの市営住宅の申込み
- ・パートナーの税証明書の交付申請

などが可能になり、一定の範囲で家族と同等の扱いを受けられます。

市役所や民間事業者の業務の中で、ファミリーシップ関係の方に提供できるサービスが増えていくことを期待しています。

2月10日開催 男女共同参画推進フォーラム

～性は2つだけじゃない！～ 多様な性

「性」は「男と女」の2つだと思われがちです。しかし、実際は、人それぞれ“多様”なものです。ファミリーシップ制度の導入を控え、専門家の講演と性的少数者の当事者の生の声から、「多様な性」を学びました。

また、グループワークを通じて、性的少数者の当事者と、意見交換をしました。

参加者の声：当事者の方々の直接の声を聞くことが出来てとても良かった。全ての人が尊重される社会になるといい。



基調講演

中京大学 風間 孝 教授

1月20日開催 男女共同参画講座

男性の生きづらさから 男だってつらいよ 男女共同参画を考える

社会構造は「男性優位」と言われるが、国の調査では、男性の生活満足度は女性より低い。また、男性の自殺者数は、女性の2倍。男性の「生きづらさ」の要因、社会的問題とは？

「男女共同参画」の視点を意識して考えてみました。



愛知淑徳大学
反橋 一憲 助教

3月8日は「国際女性デー」

3月8日の国際女性デーにあわせ、そのシンボルである、「ミモザ」を中心としたアーティフィシャルフラワーと、男女共同参画に関するパネルの展示を実施しました。

多くの方に、足を止めてご覧いただきました。



尾張旭市市民生活部多様性推進課 ☎0561-76-8125